

片仮名表記されやすい非外来語の性質

岡村さやか

1. はじめに

国語辞典（大辞林第二版）で「かたかな」を調べると「現在は主に外来語・擬声語・擬態語などの表記に用いられる」と書かれている。ところが実際の日常生活では、小説や広告、テレビや新聞でも擬声語・擬態語ではない非外来語の片仮名表記を多く目にする。中山（1998）では、そういった非外来語の片仮名表記の実態を調べるため、新聞から片仮名表記語を拾い、分類を行っていた。本稿では、改めて新聞から片仮名表記語を拾い、中山（1998）の分類項目をふまえて分類し、さらに「その他」に分類された語を中心に **www** で検索した結果を示す。そして、「非外来語であるのに片仮名表記されやすい語はどのような語か」「何故それらの語は片仮名表記されやすいのか」を表記者の意図ではなく、語のもつ性質から分析する。

2. 分類

まず、中山（1998）の「非外来語の片仮名表記」の分類を紹介する。

1 擬音（声）語・擬態語	バタバタ/チュンチュン/カラリ
2 感動詞・終助詞・語気語調	ヤヤッ/あるわヨ
3 振りがな	盗塁（トウルイ）
4 方言・文	酔チョレ/アンタラ、オヤノセイヤデ
5 外国人の発話文中語・外国製単位	カネ/ソウカイヤ/サムライ債
6 混種語	カラオケ/タカラジェンヌ
7 動植物名・性別	コスモス/ウグイス/オス
8 専門用語・隠語・俗語	オサエ/サヨナラ打/ネタ
9 電報文・（事務書類の宛名）	「ハナサク、ハナサク」
10 単位・数を数える語	一カ月/一ツ/大サジ
11 人名・国名・地名	イチロー/アヤ/ニッポン
12 機関・施設名	ダイエー/トヨタ/ナゴヤドーム
13 その他	

この分類は一般紙（朝日新聞）三日分の朝刊（1997年4月1日、5月1日、6月1日）の記事を資料にしたものである。1～12は、非外来語でありながら、その片仮名表記の理由が、語種・品詞・使用領域に求められると考えられた語を分類した項目である。「13 その他」というのは、1から12の項目にあてはまらない語、すなわち片仮名表記の理由が明確でない語の分類項目で、これについては中山（1998）でもさらに分類が行われているが、それは調査方法について述べた後で紹介する。今回は、この

「13 その他」に焦点を当てて検討していく。

3. 調査方法

- 1, 一般紙（読売新聞）2004年9月10日の朝刊の全ページより片仮名表記語を拾う
 - 2, 1で拾った語から外来語と固有名詞（主に番組名）を除く
 - 3, 残った語を中山（1998）の分類に従い13項に分類する
 - 4, 「13 その他」に分類された語を「ひらがな表記・漢字表記」と併せてwwwで検索
- 上記の四段階を踏んだ。改めて新聞から片仮名表記語を拾ったのは、現状を把握するためと、より多くの語について検討するためである。また、中山（1998）に「片仮名表記」の「多様性は規範性のある新聞におけるものであることを考えると、受け入れざるを得ない」とあるように、新聞は一般への影響力が大きい媒体の一つではないかと考えたためでもある。資料が膨大になってしまうためと、本稿の目的に支障をきたさないため、1から3の語表と分類表は省き、4の「13 その他」に分類された語のうち、記事本文に載っていた語から示す。1～12の項目において分類に迷った語は全て「その他」に分類した（表1）。

表1「その他」に分類された語（記事本文）

言葉	一紙合計(延べ語数)
ウソ寝	1
カギとなる	1
カギを握る	2
カッコ内	1
カッコ良さ	1
カネ	6
カマで刈り	2
カラ出張	1
クギを刺す	1
スキがないよう	1
ズレている	1
ダメ押し	1
ナシ(将棋)	4
ハシゴをする	1
ボツが続く	1
メド無し	1
ヤミ献金	4

ここで、中山（1998）が独自の分類「13 その他」をさらに「何故片仮名で表記しているか」という視点で分類した六つの項目を見てみる。

- (1)漢字で表される漢語の第一義でない場合
例：本のオビ（帯）・カギを握る（鍵）・目からウロコ（鱗）
- (2)第一義だが、漢字で書くと分かりにくい場合（主に表外音訓の字を含む語）
例：メドが立つ（目処）・ベーゴマ（貝独楽）
- (3)表記者が本来の意味に特別な意味を加味している場合
例：カネ・ズレ・モノ・岡光サン
- (4)表記の段階で他とのバランスを考えたと思われる場合
例：ケイリン・ハサミ・おチビさん
- (5)見出し語等の単なる強調の場合
例：ナゾ・ニセ・「ハズレ」
- (6)漢字またはひらがな表記でよいと思われる場合
例：マンガ・カッコ・ムダ・オムツ

中山氏自身、(2)と(6)の区別が明確でないとしており、(3)(4)(5)も表記者の意図を中心にした分類であるため、分類する人によってその分類結果が異なってしまうように思う。また、新聞に載ってはいるが、中には、あまり一般的とは言えない片仮名表記が含まれているかもしれない。そこで、まず「その他」の語についてそれぞれ「片仮名表記」「ひらがな表記」「漢字表記」を www で検索し、どの程度その語の片仮名表記が定着しているかを見る。そして三つの表記のうち片仮名表記が最も多かった語について共通点を探る。すなわち上記六項目についてのさらなる検討や、全ての語の片仮名表記の理由を検討するのではなく、片仮名表記に定着しつつある語について、その語の性質を探るのである。

4. 検索 1

実際に「その他」の語を www で検索した結果を示す（表 2）。使用した検索エンジンは Google で、「日本語のサイト」を検索した。検索語は、全てフレーズ検索をするため「””」をつけて検索窓に入力した。フレーズ検索とは、検索したい句や文を ” “ で挟んで入力するなどして、検索エンジン独自の単語単位に分解させず、入力した通りの句や文の用例を含むページのみを検索する方法である。Google では実際にリンクが表示される閲覧可能ページ数が最高 800 件前後にとどまるため、全ての用例を検討することは不可能である。また閲覧可能ページ数の大小は検索エンジンが表示するヒットページを表す数字に比例せず、その制限された数の基準も不明瞭である。そのため該当ページ数（表記数）の比較は、基本的に、エンジンが示す「ヒットページ数を表す数字」を基準とする。しかし、ゴミ（想定した表記や意味以外の用例のこと。例：「から」という意味を想定して「空」を検索した場合の「青空」の用例）が多く含まれていた場合は、片仮名で表記されていた部分が新聞と同じ意味になるよう、別のフレーズを作り、改めて検索した。（新聞で幾つかの用例が得られた語については、新聞に載っていた他のフレーズを採用した。〈例：「カネは」でゴミが多かったので、新聞で得られた別の用例のうち「政治とカネ」を改めて検索〉）閲覧可能ページにゴミが多く含まれていたのは、「カネは」（全ての表記）と「から出張」（ひらがな表記）、「釘を刺す」（漢字表記）である。「から出張」は「実際には出張していないにも関わらず、経費などを受ける不正」という意味の用例数を、「釘を刺す」は「後で言い逃れできないよう、あらかじめ相手に念を押す」という意味の用例数を比較するため、「今日（夕方）から出張」や「穴に釘を刺す」という用例は全てゴミとした。「カネは」については、

その正確な意味が掴みにくいが、新聞の「カネは政党交付金頼り」という用例などから、政治献金などを表し、ただの現金とは異なる意味で用いられていると考えられたため、「おカネ持ち」などはゴミとした。「目処無し」は片仮名表記数と漢字表記数にあまり差が無かったため、「目処」を用いた「目処を」を改めて検索した。ゴミが閲覧可能ページに大量に含まれていた場合はヒットページ数の後ろに「?」を付けた。自分で作ったフレーズは検索語を斜体で表記した。また、新聞で片仮名表記されていた部分以外の表記や活用形は新聞の用例と一致させ、自分で改めて作ったフレーズの表記においては、全体のページ数が多いものを採用した。

表2「その他」の語（記事本文）の検索結果

検索語	カタカナ表記	ひらがな表記	漢字表記
嘘寝 (ウソ)	901	351	<u>1510</u>
鍵となる (カギ)	39300	1900	<u>120000</u>
鍵を握る (カギ)	73600	870	<u>118000</u>
括弧内 (カッコ)	<u>349000</u>	27000	99700
格好良さ (カッコ)	<u>73200</u>	15400	49000
鎌で刈り (カマ)	45	17	<u>334</u>
金は (カネ)	35100?	5560?	1360000?
政治と金 (カネ)	<u>14700</u>	74?	4810
空出張 (カラ)	6990	64500?	12800?
空出張問題 (カラ)	<u>2010</u>	7	16
釘を刺す (クギ)	4310	935	7150?
釘を刺すよう (クギ)	81	403	<u>2520</u>
隙がない (スキ)	4780	5230	<u>17000</u>
ずれている (ズレ)	59500	<u>212000</u>	
駄目押し (ダメ)	<u>114000</u>	17600	37700
梯子をする (ハシゴ)	<u>3940</u>	3290	506
没が続く	<u>193</u>	0	116
目処無し (メド)	698	298	<u>740</u>
目処を	9980	13500	<u>15900</u>
閣献金 (ヤミ)	6560	373	<u>9900</u>

※四角で囲まれた部分の表記を括弧内の読みで、ひらがな・片仮名に変えて検索を行った。

※ゴミを減らすため、あえて付属する語(「カマで刈り」の「で刈り」など)を省かずに検索した。

4-1. 表外漢字と片仮名表記

表2で、ヒットページ数を表す数字が太線で表記され下線が引かれている欄が、三つの表記のうち最も多く該当ページが検索された表記である。

ひらがな・漢字による表記に比べ、片仮名表記の方が多かった語は「カッコ内」「カッコ良さ」「政治とカネ」「カラ出張問題」「ダメ押し」「ハシゴをする」「ボツが続く」の7語である。

この7語の共通点は何か。7語はすべて漢字表記をもつ。そのうち「梯子をする」以外の6語の片仮名部分は全て対応する常用漢字表記が存在する。それに対し、漢字表記をもつ語で、片仮名表記より漢字表記か、ひらがな表記の方が多かった9語のうち常用漢字表外字を含む語は「メド(目処)」以外の8語。さらに「目処」も「処(ド)」の音訓は常用漢字表で認められていない。この結果だけを見ると、常用漢字表記を持つ語の方が片仮名表記されやすいように思われる。しかし、日常の生活で使われている語の多くには常用漢字表記が存在する。そのためwww検索で片仮名表記の用例数が他の表記の用例数より多かった語の中に、常用漢字表記を持つ語の方が多く含まれているのは当然のようにも考えられる。

ここで注目したいのは、対応する漢字表記が表外漢字による語である。新聞では、常用漢字表外の字を用いないという制限があるため、それらの字を含む語を片仮名表記することが多いのかもしれない。しかし、wwwで検索してみると、それら表外漢字を含む語は、片仮名よりも、むしろ、ひらがなや漢字で表記されている場合が多かった。用例数の合計(全表記のページ数合計)が、常用漢字表記をもつ語と比べても多いことから、一般的に広く使われていると思われる、「鍵となる」や「目処を」といった語でも、片仮名以外の表記の方が検索されたページ数は多かった。

したがって、「常用漢字で表記される語ほど片仮名表記されやすい」とは言えなくても、「対応する常用漢字表記が存在しない」ということが、少なくともwww上の用例において、片仮名表記されやすい語の性質としては適当でないと言えるのではないだろうか。これは、新聞の用例のみからは得られない結果であると思う。次に、同じ新聞の広告面について検討していく(表3)。

wwwでの検索は、記事面の場合と全く同じ方法で行った。「物づくり」は「づくり、作り」の表記によって結果が異なったため、両方掲載した。まず片仮名表記が他の表記を上回った語についてみる。「手のタコ」「キレる子」「クセになる」「コツをつかむ」「肌のシミ」「外メシ」「ソバカス」「細かいチリ」「ネジ」「ハッキリ」「ホコリ」「モノ作り」「タバコのヤニ」である。この12語中、片仮名で表記されていた部分に表外字を含む語は「ソバカス」「手のタコ」「ネジ」「ホコリ」の4語である。「ネジ」は「ネジレ」や「ネジリ」などのゴミをマイナス検索(検索する時にあらかじめ必要ない用例を指定して、それ以外の用例を検索する方法)で除いても片仮名表記が最も多い。

「朝日新聞の新聞用語の手引」の片仮名書き原則に「常用漢字で書けない道具類」という項がある。「ネジ」の結果はこれに関連するものかもしれないが、今回は新聞表記の制限ではなく、あくまでwwwの検索結果より語の性質を探っており、表外字という理由は片仮名表記の理由になり得ないと考えると、「捻子」が片仮名表記されやすい理由は明らかでない。「ソバカス」「手のタコ」「ホコリ」も同様である。

表3「その他」に分類された語と、その検索結果（広告文）

検索語	カタカナ表記	ひらがな表記	漢字表記
足の 胼胝 (タコ)	3470?	767	23
手の 胼胝 (タコ)	<u>371</u>	15	165
受け ない人 (ウケ) <評判が良くない人>	369	924?	6290?
上司に 受け る (ウケ)	10	12	<u>81</u>
受け るネタ (ウケ)	4470	2630	<u>6230</u>
魚の 目 (ウオノメ)	12700	8130	<u>42800</u>
お 得 (トク)	870000	133000	<u>5770000</u>
傷 に (キズ) <外傷>	20300	117000	<u>124000</u>
厳しい 目 (キビシイ)	953	1830	<u>67600</u>
君 のライフスタイル (キミ)	42	3	<u>229</u>
君 の 名前 (キミ)	567	4550	<u>37000</u>
気持ちいい (キモチイイ)	27900	50800	<u>1660000</u>
綺麗 (キレイ)	1620000	1620000	<u>4240000</u>
切れ る子 (キレ)	<u>6100</u>	676	5510
釘 付け (クギ)	11700	33000	<u>876000</u>
癖 になる (クセ)	<u>93800</u>	34600	76300
車 (クルマ)	2720000	990000	21000000?
理想の 車 (クルマ)	1300	10	<u>3910</u>
自分の 車 (クルマ)	16600	288	<u>175000</u>
携帯 (ケータイ) <携帯電話のこと>	8790000	18300	38700000?
携帯 メール (ケータイ)	26700	146	<u>1010000</u>
此处 (ココ)	1500000	<u>32100000</u>	503000
骨 をつかむ (コツ)	<u>14800</u>	2290	33
五徳 (ゴトク) <台所器具>	5910	755000?	22300
五徳 の掃除 (ゴトク)	7	4	<u>80</u>
コンロの 五徳 (ゴトク)	182	43	<u>3490</u>
御免なさい (ゴメンナサイ)	733000	<u>1130000</u>	134000
肌の 染み (シミ)	<u>7540</u>	1820	50
素敵 (ステキ)	868000	1120000	<u>1840000</u>

絞さ (ズル)	967	<u>12600</u>	3820
外飯 (メシ)	<u>4470</u>	540	4330
雀斑 (ソバカス)	<u>121000</u>	120000	4980
食べ滓 (カス)	10400	<u>19500</u>	1050
得意技 (ワザ)	955	1060	<u>236000</u>
塵 (チリ)	1410000?	926000	358000
細かい塵 (チリ)	<u>5080</u>	3200	4610
納得 (ナットク)	67200	57800	<u>1480000</u>
日本 (ニッポン)	1890000	342000	<u>71400000</u>
捻子 (ネジ)	<u>7190000</u>	1580000	3340
葉書 (ハガキ)	808000	<u>1410000</u>	614000
歯茎 (グキ)	4360	5520	<u>172000</u>
裸で (ハダカ)	9490	5570	<u>252000</u>
はっきり (ハッキリ)	<u>1610000</u>	1510000	
振り仮名 (フリガナ)	558000	<u>772000</u>	27900
埃 (ホコリ)	567000	89100	475000
物づくり (モノ)	216000	<u>845000</u>	53200
物作り (モノ)	<u>98000</u>	70600	89600
タバコの脂 (ヤニ)	<u>21000</u>	2020	873
夢をかなえる (ユメ)	131	407	<u>183000</u>

※ヒット件数を表す数字が太線で表記され下線が引かれている欄が、三つの表記のうち最も該当ページが多かった表記である。

※四角で囲まれた部分の表記を括弧内 () の読みで、ひらがな・片仮名に変えて検索を行った。

※同じ表記で他に意味がある場合は新聞と同じ括弧の中< >の意味の用例を該当ページと見なし、それ以外はゴミとした。

※ゴミが閲覧可能ページに大量に含まれていた場合はヒットページ数の後ろに「?」を付けた。

※自分で作ったフレーズは検索語を斜体で表記した。

4-2. 片仮名表記が特定の意味を示す

次に「キレル」について考える。「キレル子」の「キレル」というのは「苛立ち、癩癩を起こす」という意味であると想像される。「キレル」のみで検索しても、「きれる」「切れる」には他の意味を表す用例があるのに対し、「キレル」の用例は上記の意味がほとんどであった。同じようなことが「クセになる」「タバコのヤニ」でも見られた。

さらに、「タバコのヤニ」という表記が「タバコの脂（やに）」を上回ったのに対し、「松ヤニ」は「松脂」を下回った。（「マツヤニ」の数を足しても変わらず。）「クセになる」についても、片仮名表記は「食べ物のあまりの美味しさに虜になる・習慣になる」などという意味が多く、また「クセが気になる」「クセを治す」（身体的な意味の「癖」を表す）では、ひらがな・漢字表記の方が多かった。

すなわち、今回の分析は、新聞の語と同じある一つの意味で用いられている語のみを累計対象としたため、片仮名表記が最も多い語には「文脈に関係なく、片仮名表記に特定の意味が定着している」場合があるのではないかと考えたのである。そこで仮説1を立てる。

・仮説1 文脈に関係なく、片仮名表記によって特定の意味が表される場合がある

4-3. 片仮名表記が担う意味の一般性

土屋（1977,2）に「ハナ」と「鼻」、「ユメ」と「夢」などの例によって、片仮名表記をすることで加えられるニュアンスについての説明がある。土屋氏は、「ニュアンスを添えるため」の「片仮名表記」は「文章表記の技法」としてみるべきであり、書き手の創意にかなり左右されるとしていた。また、その用法が一般化してゆき、特定の語に慣用として定まれば「語表記の用法」として捉えることができるということであった。仮説1は、この慣用化した用法に近いと思われる。では、動植物や道具類、専門用語などそのカテゴリー内の語が片仮名表記されやすいとされている語以外で、慣用化しやすい、すなわち「片仮名表記がある特定の意味を表す」用法が定着しやすい語とはどのような語か。特定の意味と言うのは勿論「強調」などではなく、あくまで語のもつ意味の一つである。分析1の前提として、片仮名表記される語は多義を有していなければならない。しかしこの条件では多くの語が当てはまる。では、片仮名表記が、ある特定の意味を表す、担うための他の条件とは何か。それは、ひらがな表記や漢字表記における第一義（一番使われている意味として）が片仮名表記のそれと異なっているということだと思ふ。そして、表記が定着するためには意味自体が一般的なものでなくてはならない。そもそも、今回は、ある特定の意味に絞って検索し、どの表記が多いかという分析を行った。そこで片仮名表記が最も多かった語というのは、その意味における片仮名表記が定着しつつある語であり、また、その意味自体が一般的なものであると言える。以上より仮説2を立てる。

・仮説2 多義を有する語で、ひらがなや漢字で表記された場合の第一義とは異なる意味が広く一般に認められている語ほど片仮名表記されやすい。

それぞれの表記において最も多く使われている意味というのは、実際のところ不明瞭であると言える。ただ「闇」「ヤミ」と、それぞれ一語だけで書かれていた場合、表す意味が異なっていることを感じられるのではないか。そして、片仮名表記の方が、より限定された意味を示しているように思う。その限定された意味というのが、どれほど一般的であるか。これこそ、その語が片仮名表記されやすいか否かを決定する要因の一つであると考え。

また、同音異義語についても、片仮名表記がいくつかある同音異義語のうち一つの語の意味を担っているのではないかと考えた。（例：「ホコリ」は「誇り」ではなく「埃」の意味でのみ使われているように見られた）しかし、そもそも、音（訓）が同じであるだけで、漢字表記は異なるため、ある語が漢字で表記された場合の第一義と、その語の同音異義語を片仮名で表記した場合の意味が異なるのは当然である。そのため、今回は多義語に限定して仮説を立てた。

表 4

◇検索 1 で、片仮名表記が他の表記を上回った語

検索語	カタカナ表記	ひらがな表記	漢字表記
線が切れる (キレ)	11	23	<u>5060</u>
癬を治す (クセ)	1200	610	<u>6990</u>
服の染み (シミ)	721	<u>1220</u>	159
駄目にする (ダメ)	<u>43600</u>	11000	12800
梯子を登る (ハシゴ)	1250	1070	<u>2080</u>
没後 (ボツ)	32 ゴ 85	26 ご 123	<u>239000</u>
骸骨 (コツ)	0 ガイ 43300	6 がい 139000	<u>102000</u>
味付け飯 (メシ)	0	21	<u>687</u>
物になる (モノ)	949	<u>73700</u>	8060
松脂 (ヤニ)	9490 マツ 2010	4000 まつ 2840	<u>19900</u>

◇検索 1 で、ひらがな・漢字表記が片仮名表記を上回った語

検索語	カタカナ表記	ひらがな表記	漢字表記
診断を受ける (ウケ)	1	2120	<u>66400</u>
しなければ嘘だ (ウソ)	32	41	<u>379</u>
鍵をかける (カギ)	4060	637	<u>26300</u>
心の傷 (キズ)	734	706	<u>158000</u>
厳しい寒さ (キビシイ)	71	783	<u>52300</u>
釘を打つ (クギ)	1200	1790	<u>9970</u>
車椅子 (クルマ)	802 イス 3360	294 いす 3720	<u>1240000</u>
携帯する (ケータイ)	1890 ケイタイ 1070	7 けいたい 15	<u>91800</u>
儒教の五徳 (ゴトク)	0	0	<u>13</u>
隙間 (スキ)	9840 マ 78700	211000 ま 203000	<u>1410000</u>
針の針孔 (メド)	15	<u>41</u>	0
職人技 (ワザ)	550	777	<u>116000</u>
花の茎 (クキ)	17	41	<u>3850</u>
昨日の夢 (ユメ)	55	154	<u>14300</u>

※四角で囲まれた部分の表記を括弧 () 内の読みでひらがな・片仮名に変えて検索を行った。

※ヒット件数を表す数字が太線で表記され下線が引かれている欄が、三つの表記のうち

ち最も該当ページが多かった表記である。

※表記のバランスの問題が考えられた場合は、四角で囲まれた部分以外の表記も変えて検索した。(例:「没後」→「ボツ後」「ボツゴ」両方で検索。表4で「ゴ」の後ろが後者の結果を表す)

5. 検索2

上記は、仮説2を確認するため行った検索2の結果である(表4)。仮説2の確認方法としては、全ての表記で片仮名部分のみを検索し、それぞれの用例の意味を調べることによって第一義を調査しようと試みた。しかし、ゴミが大量に含まれる場合が多く、また漢字表記では意味がはっきり判断できないものがあった。Googleの検索オプションを用いてマイナス検索を行ってもうまくいかなかった。(マイナス検索をすると、なぜかヒット数が増加する場合があった。) そのため下記の方法をとった。

5-1. 調査方法

- 1、新聞より拾った語が表す意味とは異なる意味を、フレーズを作って検索する。
(一つしか意味がない語<例:「ソバカス」>、多義語であるが漢字表記で読みが限定できないため、ゴミが大量に含まれてしまった語<例:君主という意味の「君」の用例を探すために「君に仕える」というフレーズを検索したところ多く見られた、「主君に使える」は読み方が新聞の用例と異なるためゴミである>は除いた。)
- 2、1で、検索1とは逆の結果が得られた場合、(検索1で片仮名表記がひらがな表記・漢字表記を上回っていた語の場合は、ひらがな表記か漢字表記の該当ページ数が片仮名表記のそれを上回るということ)それぞれの意味における最も有力な表記が異なるとする。したがってそれぞれの表記における第一義が異なるものとする。

5-2. 片仮名表記が担う意味の一般性と例外語について

表4をみると、新聞で使用されていた意味とは異なる意味の場合、片仮名表記が他の表記を上回っていた語のほとんどが、逆の結果を示したことがわかる。そして、片仮名表記が他の表記を下回っていた語に関しては、検索1とおおよそ変わらなかった。フレーズで検索したため、偶然という場合もありえるが、一つの物差しにはなりえるだろう。

それぞれの表記によって一番使用されている意味が異なる場合、同じ語でも異なる意味を表すフレーズによって、最もヒット件数の多い表記が異なる。逆に、それぞれの表記が担う意味があまり区別されていない場合は、常に一つの表記が最も多いヒット数を示す。さらに、多義を有する語でも、あまり一般的につかわれない意味(「儒教の五徳」など)は片仮名表記をすることによって、かえって意味が分かりにくくなってしまったため、意味の区別に表記の区別が用いられていないのではないか。

また、表4で例外的結果を示した「駄目」は仮説2の延長にある語と言えるのではないかと考える。すなわち「駄目」という語は、はじめ、ある一つの意味において「ダメ」という表記がされていたが、その意味が広く定着したために、その表記自体も定着し、次第に他の意味においても「駄目」より「ダメ」と表記されるようになった。「駄目」は片仮名部分のみの検索で、片仮名表記が他の表記を上回っていることから、片仮名表記による意味の区別や限定は、もはや為されていないと想像される。したがって、このような「語の表記自体が片仮名表記に定着した語」は、表外漢字であったために新聞などで片仮名表記をされ、その結果片仮名表記が定着した、というの

ではなく、あくまである一つの意味を、他の表記の第一義と区別するために片仮名表記が担い、その意味が一般化したために片仮名表記が定着した語であると考える。

6. まとめ

片仮名表記されやすい非外来語の性質として、今回の検索結果より立てた仮説は、「多義を有する語で、ひらがなや漢字で表記された場合の第一義とは異なる特定の意味が広く一般に認められている」ということである。また、表外漢字で表記されるということが、片仮名表記されやすい語の性質として認められにくいことも、確認された。

これらの仮説は、全ての語に当てはまるとは勿論言えず、今回の調査で既に例外語もある。また、検索結果の正確性を追求できなかった語(例:「ニッポン」の漢字表記は「日本」とするしかなく、「ニホン」も含まれてしまう。「花の茎」の「茎」は「齒茎」の「茎」と読み方が異なっている。)があることや、「広く一般に認められている意味」についての分析が曖昧であることも否めない。

更には、www 上の情報量は短い期間で増減するため、ニュースで話題になった語などは、一週間で最もその用例数が多い表記が変わってしまう可能性もある。しかし、たとえ一部の語のみに通用する仮説であり、それが一時点の検索結果をもとに立てられたものだとしても、片仮名が外来語・擬声語・擬態語以外の表記において、何らかの原因・目的で使用されていることは明らかであり、それらを突き止める一つの糸口にはなりえると思う。今回の課題を解決する調査方法を探ると共に、実例を検討していきたい。

7. 引用・参考文献

- (1)土屋信一(1977,2)「現代新聞の片仮名表記」国立国語研究所報告 59 電子計算機による国語研究Ⅷ pp.140-159
 - (2)中山恵利子(1998,3)「非外来語の片仮名表記」日本語教育 96号 pp.61-72
 - (3)柴田真美(1998,3)「現代の片仮名表記について」学習院大学国語国文学会誌 41 pp.60-52
 - (4)吉村弓子(1982,4)「現代日本語における漢字の表意性」筑波大学一般・応用言語研究室 現代日本語における漢字の表意性 第1号 pp.2-16
 - (6)大辞林第二版(1995,11)三省堂
 - (7)使用検索エンジン…Google <http://www.google.co.jp/>
- ※検索は 2005 年 3 月～4 月にかけて行った

(おかむら さやか・東京都立大学生)